

# 大気環境植物学研究室

教員名：山口真弘

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

### ➤ 植物に対する大気汚染や地球温暖化の影響を調べています。

植物は太陽の光と水を利用し、酸素を放出しながら CO<sub>2</sub> を吸収して有機物を作り出しています。それらを利用して私たち人間などの動物は生存しています。本研究室では、**私たちの生存に不可欠な植物を保護することを目的**として、人間の産業活動に起因する環境変化である大気汚染や地球温暖化 (CO<sub>2</sub> 濃度上昇) が植物に及ぼす影響を明らかにしています。

### ➤ 実際におこなっている作業

- ✓ 植物栽培用のチャンバーを用いて、植物に大気汚染物質（光化学オキシダント）や高濃度 CO<sub>2</sub>、昇温させた空気を曝露しながら栽培します。



- ✓ 栽培期間中の葉数や草丈等の成長や栽培後の収量を測定します。これらのデータを解析することによって、植物に対する大気汚染物質や高濃度 CO<sub>2</sub> 等の影響を調べます。



### ➤ 得られた成果は以下のようなことの役に立ちます。

- ✓ 大気汚染から植物を保護するための「**みどりの環境基準**」の設定
- ✓ 将来の栽培環境における**作物の生産性とその予測精度の向上**

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

食品や医薬品のメーカー、人材サービスや建設コンサルタント、ガスなどのサービス・インフラ関連、その他には IT 関連など、研究内容にとらわれずに様々な業種の会社に就職しています。地方公共団体への就職（公務員）や、長崎大学や他大学の大学院への進学をした卒業生もいます。